



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 23-01

7月号

発行 2020年7月12日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「埼玉 YMCA を支援しよう！」
国際会長主題: “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP”
「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア太平洋地域会長主題: “Make A Difference”
「変化をもたらそう」
東日本区理事主題: “Let's enjoy Changes.”
「変化をたのしもう！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	山崎 純子
書 記	利根川 太郎
地域奉仕・Yサ	利根川 太郎
メネット	吉田 公代
国際・交流	森下 千恵子・生川 美樹
ユース	山本 剛志郎
担当主事	河合 今日子

関東東部部長主題 「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」

7月の聖書

収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。(マタイによる福音書9章37・38節)

The harvest is plentiful but the workers are few. Ask the Lord of harvest, therefore, to send out workers into his harvest field.
(Matthew 9: 37.38)

2020年6月の統計(6月27日)

在籍10名 出席者8名

出席率 80%

2020年 7月 例会予告

日時: 7月25日(土) 16:00~18:00

会場: 川越YMCA

- ・7月例会は対面での会議を基本とします。
- ・卓話は紅赤芋でお世話になっている高橋直子さん
- ・YMCAの説明を小谷全人総主事から
- ・北九州クラブから曾我部久さんと絹川昌子さんがZoomで参加予定です。

2020-2021年度の始まりに際して

会長 吉野 勝三郎

わたしは、今回、Pandemic という英単語を初めて知りました。世界規模の疫病は歴史の中で繰り返されて来たのでした。”COVID-19”と名付けられた今回の疫病もその一つです。ウイルスも生き物だとすれば、彼らも人間との生存競争です。日本語では、収束と終息は同じ発音ですが、ウイルスに関する限り、終息はなく、どこかの時点で収束したと考えて ”With Corona” です。

このコロナ禍は、ワイズメンズクラブの活動にもさまざまな影響が生じました。例年の東日本区大会(西も)は中止となり、故鎌田政稔メンの追悼は、東日本区報に掲載されました。奇しくも丁度一年前の7月1日が命日でした。会員としては、幸い、生川美樹さんが入会され、大いに励まされています。

しかし、チャーターメンバーの牛村永代メンが体調不良のため6月末で退会され、10名でのスタートとなりました。牛村さんにあっては、体調を回復されて、お会いできる日を楽しみにしています。

当然ながら、埼玉YMCAも活動が大きく制限され、経済的に大きな打撃を受けています。埼玉YMCAは埼玉県から公益財団法人の認定を受けていて、税金などの面で優遇されていますが、その反面、正味財

産（資産から負債を差し引いた差額）が 300 万円以上であることが求められ、2 年連続で正味財産が 300 万円を下回ると解散を命じられます。

2013 年に公益財団法人の認定を受けた時の正味財産は 326 万円で、会館は全て賃貸で土地建物などの資産は無く、一方で公益財団法人の会計制度の収支相償（支出を超える収入を得てはならない）という規則により、黒字を積み重ねることが出来ないため、毎年 300 万円ギリギリの正味財産で運営をしていました。

一昨年度に正味財産が 300 万円を下回る結果となり、今年 3 月期の決算は何としてでも正味財産を 300 万円以上にすることが必要でした。ところが、決算期の 3 月にはコロナによる 2 週間の休業に伴う返金等も重なり経済的に大変厳しい状況になりましたが、幸い、結果としては、職員給与のカットを含めた支出削減と、特別な寄付などがあり、正味財産を 395 万円にすることができました。

しかし、コロナの影響による経済的ダメージは大きく、現在進行中の年度は、借入金が膨らんでいます。職員の皆さんも、埼玉 YMCA 存続のために日夜努力されています。

そこで、6 月 27 日の例会で、川越クラブの今年の主題を“埼玉 YMCA を支援しよう！”とすることを提案し、皆さんの賛同を得ることができました。

今年ほど、ワイズメンズクラブの原点である、YMCA の支援が必要な時はないと思います。私たちのすべての活動が埼玉 YMCA 支援に繋がる年にしたいと願います。今年も皆さんのお支えで川越ワイズメンズクラブを運営していきますので、よろしく。

・アースディの参加について
今年度のアースディは、オンラインでの開催を検討している。（動画配信）
実行委員会は利根川が参加、アースディの参加は実行委員会の様子を見て検討する。
YMCA の実行委員会参加を河合さんから小谷総主事に打診する。

- (2) 川越クラブ決算・予算案
・会費を今年度に限り 40,000 円とする。
- (3) 8 月 9 月 10 月の例会について
・第 4 土曜日に開催予定
- (4) 会員の近況報告
- (5) その他
・7 月 17 日(金)北九州クラブ例会
・7 月 18 日(土)関東東部評議会

5. YMCA 報告

6. 閉会点鐘



6 月例会報告

利根川 太郎

1. 開会点鐘
2. ワイズソング「いざ立て」斉唱
3. ワイズの信条
4. 議事・報告

(1) 川越クラブ事業計画

- ・紅赤チャリティ
今年度は 50 箱を目標に例年通り実施する。
2021 年度に品種等新たな取り組みを検討。
- ・芋がしチャリティ
川越 YMCA での販売を主に行う。会議があれば販売。50 袋／年を目標。
- ・今後の例会プログラムについて
・芋農家の高橋直子さんに次回例会の卓話を依頼する。
・「時の鐘」は川越クラブのバナーモチーフなので、「時の鐘」の講話を川越散策をしながら聴く会。講話者は山崎さんに心当たりを当たってもらう。
・北九州クラブ(DBC)との Zoom での例会参加について打診する。

会員の近況報告

利根川 太郎

吉野勝三郎さん

関係する旅行会社はほとんど収入が無い状態が続いています。

孫が高 3 と中 3 で、来年の入試がどうなるか気がかりです

山崎純子さん

ガーデニングをしています。朝早く起きてラジオ体操もしています。最近では映画で「若草物語」を見ました。「感染症の世界史」を読んでいます、とても興味深いです。

河合今日子さん

子どもが学校に通い出して学校給食も始まったので、大分楽になりました。毎日 3 度の食事を用意するのは大変です。

吉田公代さん

コロナ感染が始まって、ずっと在宅勤務です。今は週 1 回くらいの出勤ペースで、あとは在宅のリモ

ートワークです。在宅では、仕事とプライベートの時間を分けるのが難しいと感じています。

生川美樹さん

4月に友人の結婚式出席のためスペイン旅行を計画していましたがキャンセルになってしまいました。その後、コロナの関係で派遣切りに会い、現在は別の仕事をしています。

山本剛史郎さん

キングスガーデンが4月から霞ヶ関北小跡地に仮設住宅として開業し、現在勤務しています。2年後には、鶴ヶ島駅近くに特別養護老人ホームとして本施設を開業する予定です。コロナの関係で、デイサービスやショートステイはどこも閉鎖されています。プライベートでは、子どもたちは祖父からゲーム機を買ってもらって楽しんでます。

利根川恵子メン

Zoom会議が非常に多くなりました。夕方からは毎日Zoomで会議になっています。今日もアジア太平洋地域役員会で例会参加が遅れました。6月29日には東日本区の引継ぎ式がありZoomで配信されます。プライベートでは、U-PLACEに新しくできたジムに通い始めました。

利根川太郎

5月初めから在宅勤務でした。6月になり週3日の出勤と2日の在宅ワークです。出勤が月水金で毎日が月曜日です。火水木のローテーションのチームもあって、上司には冗談で待遇改善を訴えたら、7月から月火水勤務になります。在宅はアクセスできる社内ネットワークが限られるので、文書管理が大変です。

故鎌田政稔さん一周忌に寄せて

利根川 恵子

時が経つのは本当に早いもので、昨年7月1日に鎌田さんが亡くなられて、1年となりました。ご命日の翌日となる7月2日に、山崎さん、吉田さん、河合さんと私の4人で、鎌田さんのお宅にご挨拶にあげました。折しも、当日、理事通信が配信され、鎌田さんのお写真とご経歴が紹介されましたので、ご仏前にお届けしました。

奥様のかをるさんと、ワイズメンズクラブに留まらず、ロータリークラブやアースディ・イン・川越実行委員会への参加、ジャズコンサートの企画・運営など、生前のご活躍ぶりを懐かしく語り合いました。闘病のご様子なども伺い、改めて鎌田さんの強さを実感し、ご逝去が残念でなりません。鎌田さんのワイズに対する熱い思いを忘れること無く、クラブを盛り上げていこうとお仏壇に誓った次第です。

ご冥福をお祈りいたします。

2019-2020 年度東日本区表彰発表

会長 吉野 勝三郎

昨年度末に、2019-2020年度の各種表彰が発表されました。

川越クラブは、例年どおり、「全献金達成クラブ（献金事業7種（CS,ASF,FF,BF,TOF,YES）すべてを目標達成したクラブ）」として他の22クラブとともに表彰されました。

その他、ノンドロップ賞、BF使用済み切手収集協力賞、YIA推進賞（仙台でのAYCにユースを派遣したクラブ）、ロースター広告協力賞も受賞しました。みなさま、ご協力ありがとうございました。今年度は、会員を15名にして、グッドスタンディング賞を目指しましょう。

なお、詳しい表彰結果は、東日本区ウェブサイトに掲載されておりますので、ご覧ください。

Zoomによる就任式報告

利根川 恵子

(1) 国際会長、国際役員、国際議員就任式
本来であれば、デンマーク・オーデンセで行われる予定であった国際大会で、国際会長、国際役員の就任式が催されるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、7月4日、国際本部（ジュネーブ）、国際会長ホームクラブのリンコビン（デンマーク）、その他各地域会長等と世界を結んで就任式が行われました。国際会長の就任式は、元国際会長のヘンリー・グリンドハイムさんが、特別許可を得てノルウェーからデンマークに行き、国際会長、国際役員就任式の司式を執り行いました。



その後、国際会長に正式に就任したヤコブ・クリステンセンさんが、国際議員となる地域会長、次期地域会長、若手メンバーの代表の就任式を執り行いました。アジア太平洋地域会長のディビッド・ルアさん、次期地域会長の大野勉さん（神戸ポートクラブ）も晴れて国際議員に就任となりました。このビデオはワイズメンズクラブ国際協会のウェブサイト、FB

でみることができます。

(2) 東日本区理事就任式・引継ぎ式



国際会長や国際議員の就任式に先立ち、6月29日に、日本YMCA同盟会議室において、藤井寛敏元国際会長の司式により東日本区理事就任式、引継ぎ式が、最小限の人数で最短の時間で行われました。

元東日本区理事として、私が司会をさせていただくと同時に、今期の東日本区会計として就任いたしました。同じく区副会計として就任した吉田公代ワイズには当日、お手伝いいただき、Zoomによる就任式、引継ぎ式は無事に終了いたしました。

このビデオは、下記のYouTubeでご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=LH3nnRxtag&feature=youtu.be>



YMCA報告

河合 今日子

<工夫して野外教育活動を再開>

6月28日(日)、朝方は大雨で開催が心配されたトースター6月の活動。

3月の活動に続き、川越センターから川越水上公園までのポイントハイク第2弾。

3ヶ月に及ぶ急な活動自粛後であったため、私たちスタッフやリーダー、子どもたちはこの日をとても楽しみにしていました。

今回は、埼玉YMCAの野外教育ガイドラインに沿って、活動前後の健康観察カードの記入や活動中は全員が集まる場所を作らないよう、集解散の仕方や昼食のとりかたなど工夫をしました。

制限の多い生活、閉塞感を感じることもありましたが、久しぶりの活動に13人の子どもたちとリーダーたちはそれを感じさせないくらい明るい表情をしていました。

川越ののどかなたんぼ道に潜んでいるいろいろな生物に驚き、喜びながらあっという間の4時間でした。



<放課後等デイサービス代替支援=Zoomによるオンライン支援>

浦和・川越の放課後等デイサービスでは、子どもたちの自宅待機が3ヶ月目に入った5月のGW明けから、希望者には代替え支援としてWebクラスを開講しました。

これは、児童が新型コロナウイルスに感染することを恐れ、デイサービスを欠席する場合、事業者が代替支援を通じて児童の健康管理や相談支援など

を行った場合、通常の通いクラスと同等のサービスを提供しているものとして、特例的に報酬の対象となるものです。

Web を利用すると、自宅にいながらリーダーや友達と顔を合わせ、双方向にやり取りができるという利点があります。また、映像を通して安心した仲間やリーダーと顔を合わせることで子どもたちの心理的な不安を取り除き、少しでも安心して毎日が過ごせるようサポートできるという利点があります。

最初は慣れなかったこの Zoom クラスも、通常のソーシャルスキルトレーニングクラスその他、体操、英語、クラブ活動など YMCA 他事業の専門性を生かしたプログラムも可能となり、5月、6月は川越センターのみで120クラスを運営しました。

1クラス平均4名程度の子どもたちとリーダーが40分間を共にします。目の前で行うクラスと異なり、時間も準備も倍以上かかる時もありました。その日のネット環境にも影響されやすく、回線がつながりやすいときもあればつながりにくいときもあります。私たちも参加した子どもたちも、試行錯誤しながらようやく慣れてきたオンライン支援も3ヶ月目に入ります。学校が始まったとはいえ、慣れない学校生活に加え、YMCAに来る電車の中でコロナウイルスにかかったらどうしようと不安を抱えていた子どもたちも安心して家庭で代替支援を受けられることとなります。これも川越ワイズメンズクラブの皆様にご支援いただきましたWI-FI環境のおかげです。

今後もコロナウイルス感染防止対策をしっかりととりながら、子どもや保護者の声に寄り添ったプログラムを展開していきたいと思っております。

その他連絡事項

利根川 太郎

1. 2020-2021 年度会費について

6月例会報告でも触れましたが、ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金、東日本区費軽減措置などにより今年度に限り会費を40,000円としました。

つきましては下記の口座にご入金ください。なお、支払い方法は例年と同じで、一括、前後期の2回分割、複数回の分割(山崎さんに相談してください)のいずれかでお願いします。

「ゆうちょ銀行」 10300-61281371 記号 一 番号 カワゴエワイズメンズクラブ
--

2. 「時の鐘」卓話者について

山崎純子さんの義弟の神谷節夫さんに快諾

をいただきました。

神谷さんは、茨城県日立市出身、東北大学卒。東燃石油化学をご退職後に長年の希望であった考古学に傾倒して、現在、江戸東京博物館と川越博物館の説明員をなさっています。また、以前、古墳を歩くお散歩例会でお世話になりました。

神谷さんは江戸検定1級、川越検定1級をお持ちです。

3. 浅羽俊一郎さん埼玉クラブ移籍

山手クラブの解散に伴い、浅羽俊一郎さんが埼玉クラブに所属されます。よろしくお願ひします。

編集後記

利根川 太郎

川越クラブブリテン7月号をお届けします。コロナ感染拡大の第2波が強く心配されます。東京では200人を超えたとのニュースが流れました。

九州では、数十年に一度という大雨特別警報が出され、これまで経験したことの無い豪雨と連日発表されています。ここ数年は、数十年に一度が毎年起こっているようです。

暗いニュースばかりが目につきますが、YMCA報告の写真をみると心が和みます。このような中でも、子どもたちの明るい笑顔が見られるようにリーダーをはじめスタッフの皆さんも頑張ってくれています。吉野会長の今期スローガン「埼玉YMCAを支援しよう！」の実現を目指してYMCAの活動をしっかり支援して参りたいと思っております。